

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 468

政策体系	36	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 商工観光課
会計	一般会計	科目	7. 商工費 - 1. 商工費 - 2. 商工振 現年		
事業名	商店街活性化研究等事業				
細事業名	商店街活性化研究等事業				
評価表作成者				農林商工部 商工観光課	大谷洋史

1. 事業の概要

市内の農林水産物の生産者と市内の商店街、学校との協働により、地産地消に取り組み、南丹市の特色ある食の地域ブランドづくりを行うことによって、市の農林水産物の消費拡大と商店街の活性化を目的とする。
 主な効果：商店街の元気回復。地産地消の推進。農林水産物の消費拡大。商店街のおもてなし力の向上。生産者と商店街との連携向上。地域資源の発見。特色のある地域ブランドづくり。食文化の向上。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

付加価値の高い商品をつくることにより、生産者、加工グループ、商店街が共に潤い、強いては市のブランド力向上を行う。

② 事業を実施する必要性

素材生産力は高いが価値を高めて販売する事には繋がっていない。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円				364	2,500		
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0	0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0	0		
	国・府支出金	千円				0	0		
	地方債	千円				0	0		
	一般財源	千円				364	2,500		
職員等の従事人員		人/年	—			0.25			
人件費		千円	—			1,736			
事業費総額		千円	—			2,100			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

食の逸品研究会、食の逸品を楽しむ会開催
 （講師料、イベントプロデュース）363,861円

5. 事業結果の概要

食の逸品研究会の実施（10月～2月）
 1～4回研修・逸品づくり
 5回 成果品の試食会（一般向け）

6. 活動の詳細

食の逸品研究会		
フードプロデューサー齊藤三映子氏による指導、プロデュースのもと、農林水産生産者と商店街グループが南丹市の地域ブランドとなる商品開発を行った。 (協力参加：聖カタリナ高校普通科フードカルチャーコースの教員及び生徒)	平成22年10月-平成23年2月 (全5回)	参加グループによる積極的な商品開発が行われ、「食の逸品を愉しむ会」において成果発表、市場の意見を収集することができた。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

当事業において取組まれた団体の作品が国民文化祭プレイベントの食の祭典にて平成22年度最優秀賞、アイデア賞の栄誉に輝いた。今後は売れる商品、販路拡大などが課題となってくる。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

--

■平成21年度の所属長評価

--